

日本YMCA同盟

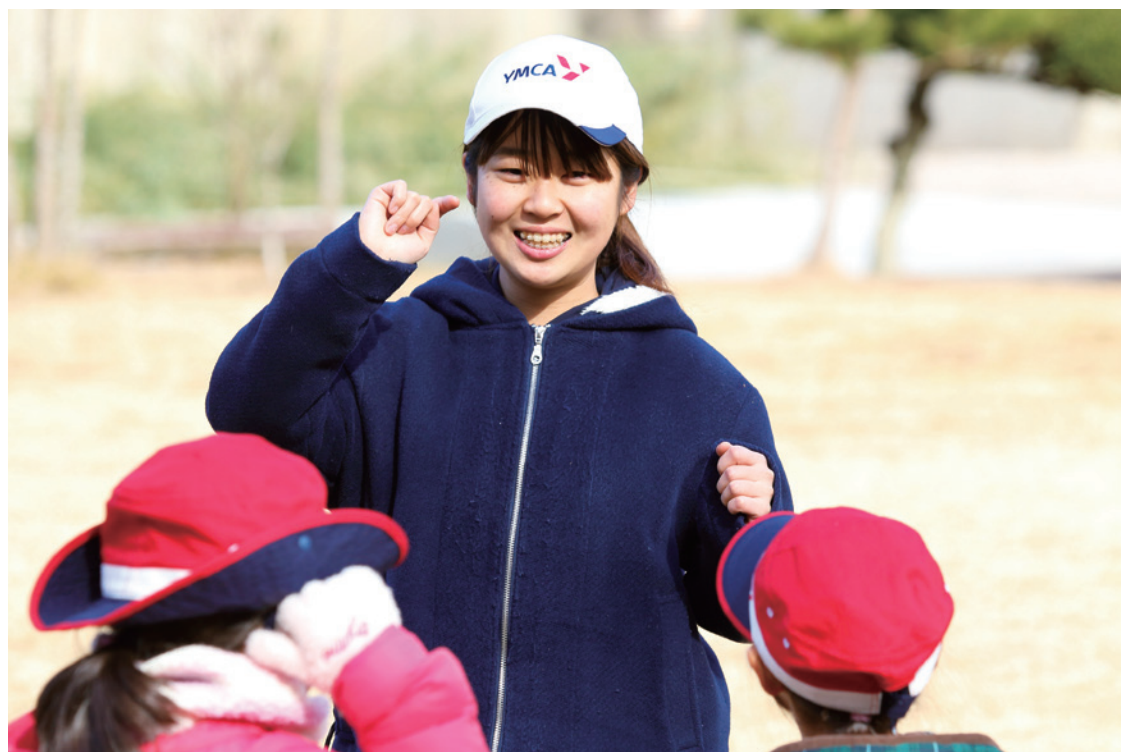
THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.803 2021

2021年1月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料63円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号
Tel 03-5367-6640 Fax 03-5367-6641
URL : <https://www.ymcajapan.org/>
発行人／田口 努 編集人／横山 由利亜



OPINION

コロナ禍で問われる YMCAのユース・エンパワーメント

日本YMCA同盟 総主事 田口 努

「盗まれた未来」、「パンデミック世代」、「終わりのない隔離・孤独」。世界YMCA・YWCA合同祈祷週のブックレットでは、若者は自分たちのことをこう表現している、と書かれています。また、世界YMCA同盟は、新型コロナウイルスによるユースへの影響の中でも特に大きい「雇用」「教育」「メンタルヘルス」について、今後特に力を入れていくと明言しています。

2017年に日本のYMCAでは、「ユース・エンパワーメント—100万人の声調査—」として、国内9つのYMCAの協力によりグループインタビューを実施しました。「雇用」「健康」「環境」「参画」をテーマに、アンケートでは把握しきれない「若者の声」を集めて分析しました。

そして、2020年9月、コロナ禍において影響を受けているユースの現状を知り、その実態について社会へ発信していくことを目的として、日本YMCA同盟ユース委員会ではアンケートによる意識調査を行いました。この「全国YMCAユースボランティア意識調査—新型コロナウイルス感染症影響下におけるユース世代の生活とボランティア活動—」には552名が回答、アンケートの結果から、コロナ禍においてもボランティア活動を継続しようという意欲を維持するユースが数多くいることがわかりました。そして同時に、不安、困難、孤独感を抱えている姿、さらに困難なときだからこそ工夫をし、前に進もうとする姿勢も読み取れました。こうしたさまざまなユースの声をしっかりと受けとめたいと思います。

新型コロナウイルスがもたらした変化の一つとして、国内外において新しいテクノロジーの活用が広がったことが挙げられます。オンラインではさまざまな「ユースが集う機会」が実施され、新しい「つながり」を生み出しました。世界YMCA同盟のユースサミット、全国リーダー研修会、学生YMCAのオンラインゼミなど目の前にない、物理的な距離があるからこそ、より一層積極的に自ら「つながろう」とする気持ちが生まれ、実施後も継続してつながりあっていこう、課題に取り組んでいこうという#はなれていてもつながっていることを実践しています。

人間が成長する過程において、生涯を決定づける自己の確立、つまりアイデンティティを形成する青年期に、YMCAは創立時より関わりつづけてきました。ジョージ・ウィリアムズが同じ青年として、悩み苦しむ青年のために立ち上がったのがYMCAの始まりです。このコロナ禍であるからこそ、ユース世代は多様な価値、人々との出会いの場が必要なのです。そして、子どもたちのために活動を続けていこうとすること、環境問題に積極的に取り組む世界のYMCAのユースに刺激を受け、意識が変わっていくこと、新しい取り組みにチャレンジすること、YMCAのユースは多様な姿を見せてくれています。ユースがイニシアティブを発揮し、主体的にアクションを起こしていく。いまこそユースの声を聴き、ユースエンパワーメントのために歩みたいと思います。

第21回日本YMCA大会を開催します

「いまこそ、ポジティブネット みつける、つなげる、よくなっていこう!」

2021年2月5日（金）ユースナイト 2021年2月23日（火・祝）本大会

2年に1度開催している日本YMCA大会。今年度はオンラインによる開催にチャレンジします。困難なとき、新しいつながり方を得た私たち。いまこそ一人ひとりにあるつながる力を発揮して、ポジティブネットを広げます。

●全国のYMCAのさまざまな活動はこちらからもご覧いただけます。 <https://www.ymcajapan.org>

私たちの世界には解決が望まれる課題が山積みで、そのことに多くの人が気づいています。また、そうした課題について自分たちで調べたり、考えたりする「学びのスタイル」も拡がりつつあります。

日本YMCA同盟では、株式会社Unpackedとともに、2020年8月末に高校生グループを対象としたアイデアソンコンテストを行いました。3人1組の高校生たちが世界を良くしていくためのアイデアをベースに企画を練り、プレゼンテーションでその発想のユニークさ、実現可能性などを競い合うコンテストです。オンライン会議システムも利用して、リモートとリアル会場とのハイブリッド型コンテストには14組36名が参加。海洋ゴミのリサイクル、学校の教科書・制服の合理化、高校生のキャリアの相談マッチング、途上国の子どもたちへのオンライン教育支援など、それぞれによく練られた内容が披露されました。実現までの工程表や想定したマーケットへのアクセス方法、その際に必要なコスト計算とビジネスとしても持続可能となる仕組みが次々と提示されました。

インスタ映えする非常食!?

アイデアソンコンテスト YMCA x Unpacked賞

「かわいくて、持ち運びしやすくなり、インスタ映えする非常食」のアイデアが見事、YMCA x Unpacked賞に輝きました。

非常食といえば、「パツとしない、美味しくないのでその場しのぎでお腹を満たすもの」という日陰の存在ですが、女子高校生グループRe:Charityの手にかければ、それを思わず携帯して、自慢したくなるインスタ映えするものに。ファッショナブルに防災意識を高めようというアイデアです。商品開発や資金調達プラン、食品メーカーとの連携というビジネスモデルと、高校生たちをインフルエンサーに社会に広げようという提案がされました。

YMCAには、避難所運営や仮設住宅支援をはじめ災害支援の多くの実例があり、今後、高校生たちが実際の被災者や支援者へのインタビューを通してより具体的に課題の解決につながる道筋を共に考え、実現に向けて進めます。ぜひ、お楽しみに。



#なんとなくから卒業だ 高校生による高校生のためのキャリア開発

アイデアソンに協力してくれた株式会社Unpackedは大学生、高校生により起業・運営されています。学生が起業を目指すことでイノベティブな考え方を学び、日本や世界を支える人材を育成することを目的に発足し、中高生300名以上が集まる日本最大規模のキャリアイベント「U18キャリアサミット」を主催しています。アイデアソンコンテストのほか、YMCAが企業と進めるプロジェクト型寄附の企画でも協働しています。

Unpackedのミッションは「Find U for GO CRAZY-」。CEO (Chief Evangelist Officer) でN高等学校生の三橋龍起さん(写真右上)の目標は「世界中の人々が、夜寝る前に明日も楽しみだな、と思える社会をつくること」。いま、この年齢で感じて行動することを大事にしたいと、活動に専念するため、4月から進学予定の大学は入学と同時に休学する計画です。

COO (Chief Operating Officer) 中澤治大さん(写真左下)は「高校生のためのキャリア開発を、高校生が行っていることに意味がある」と語ります。「やってみたく『何か』をかたちにすることができれば、10年、20年先の自分のキャリアを自分で創り出すことが



できると思う。なんとなく進学、なんとなく勉強、なんとなく就職、それでいいのかと感じている高校生に一歩目を踏み出すきっかけをつくりたい」と話してくれました。



オンラインを続けてみよう

学生YMCA



2020年度前期、全国の大学でオンライン授業が取り入れられました。もちろん、新型コロナウイルスの影響です。後期に対面授業を一部再開した大学もありますが、それでもオンライン授業は続いています。

オンラインだとどこにいてもすぐ会えるね!と喜んだのは最初だけで、オンライン授業の参加と課題提出に追われ、キャンパスにも行けず、友だちにも会えずというニューノーマルな大学生活に疲労感を感じ「オンラインはもううんざり」という大学生も多いと聞きます。「オンライン、オンライン、オラいらん」とある学Yシニアの大学教授による名言ですが、いっこうに衰えない新型コロナ感染拡大と相まって、大学生含め多くの方に共感いただけると思います。

それでも学生YMCAではリアルな世界では実施しにくくなった活動の継続をオンラインで、と呼びかけています。今年の九州地区の夏期学校では「Black Lives Matter」をテーマに皆で考え、各地での聖書研究会では聖書の言葉から自分たちの思いや経験を分かちあいました。また、これまでつながりが持ちにくかった若い社会人である学Yシニアとも「コロナ禍に生きるわたしたち」を共通テーマにそれぞれの生活や仕事、家族について語るオンライン企画を5回にわたり実施しました。

「コロナ禍に生きるわたしたち」は2月にオンライン開催する全国学生YMCA夏期ゼミナールでも共通のテーマです。それに向けた準備として11月から3か月連続でオンラインでの「月いちゼミナール」を開催しています。もう右を向いても左を見てもオンラインです。

大学生の皆さん! 皆さんがオンラインに疲れているのはよくわかります。それでも学生YMCAはオンラインでの活動を継続します。カメラを切ってもいい。ライブ参加じゃなくてもいい。こんなしんどい時代だからこそ、大学、地域、世代を越えてYMCAに連なる人たちと一緒につながっていきましょう。



学生YMCA・東京YMCA

2021年度新入寮生募集

全国には学生のためのYMCA寮が11カ所あり、各寮では、学生による自治を基本とした共同生活を通して、自主性と協調性を培っています。130年以上の歴史があり、多くのリーダーを社会に輩出してきたYMCA寮。現在、2021年度の新入寮生を募集中です。関心のある方は、お気軽にお問い合わせください!

北海道

北海道大学YMCA汝羊寮
男子・北大生のみ
TEL 011-736-9918

京都府

京都大学YMCA地塩寮
男女・他大学生応相談
TEL 075-751-9744

京都府立医科大学YMCA橋井寮
男女・府立医科大生のみ
TEL 075-771-6913

福岡県

九州大学YMCA一麦寮
男女・九大生のみ
TEL 092-707-6464

長崎県

長崎大学YMCA浦山寮
男子・長大生のみ
TEL 095-846-9241

熊本県

熊本大学YMCA花陵会
男子・熊大生のみ
TEL 096-343-1432

宮城県

東北大学YMCA淡水寮
男女・他大学生応相談
TEL 022-249-3564

東京都

東京大学YMCA
男女・東大生のみ
TEL 03-3811-1778

早稲田大学YMCA信愛学舎
男女・他大学生応相談
TEL 03-3203-2858

一橋大学YMCA
男子・一橋大生のみ
TEL 042-843-0542

東京YMCA山手学舎*
男子学生のみ
TEL 03-3202-0321

*学生YMCAの寮ではないが、大学生寮としてYMCAが運営